

## 【補足資料】

スマートフォンやタブレットは容易に様々な情報を入手することが可能で、生活の質を大きく向上させる可能性があります。初心者にとっては基本的な操作方法でつまずくことがあります。特に文字入力は難しく、多くの方が操作につまずきがちですが、今までつまずいた時に入力を支援する仕組みはありませんでした。

KDDI 研究所ではスマートデバイス初心者の文字入力の観察実験に基づき、典型的なつまずきパターンを抽出し、これらのつまずきの検出方式、ならびに文字入力スキルの推定方式を開発しました。かな漢字変換のタイミング、かな・英文字・数字の切り替え、半濁点と句点との混同など 15 種類のつまずきパターン検出し、つまずきパターンに応じたアドバイスを音声・吹き出し・アニメーションで提示します。さらに文字入力スキルを 5 段階で推定するアルゴリズムを組み入れることで、スキルの高いユーザーへの不要なアドバイスを抑止しています。

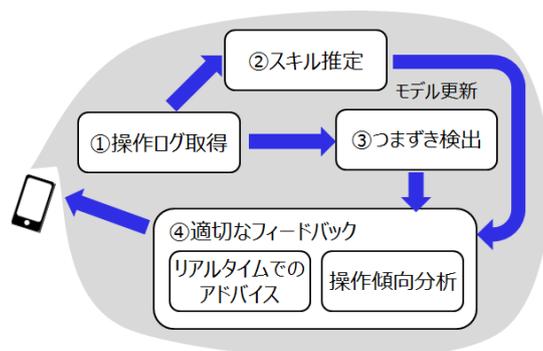


図 1) つまずき検出とアドバイスの仕組み



図 2) 操作中のアドバイス画面

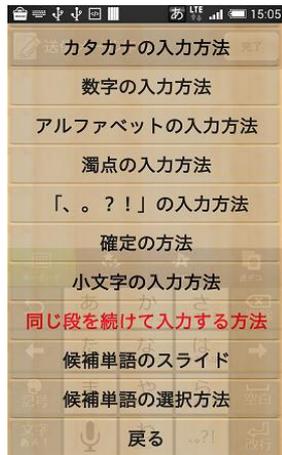


図 3) ヒント画面

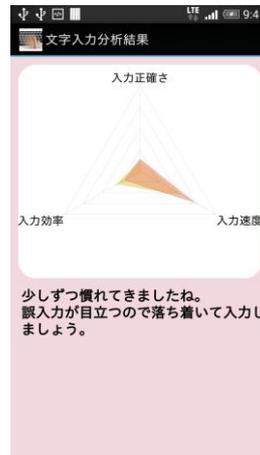


図 4) 入力分析結果画面

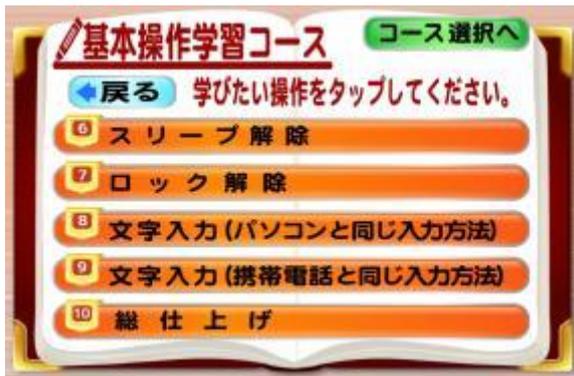


図 5)「タッチで学ぶ！タブレット使い方ガイド」画面イメージ